

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 2 月 28 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270500764		
法人名	医療法人 牧山医院		
事業所名	グループホーム 虹		
所在地	長崎県大村市黒丸町 1653-1		
自己評価作成日	平成 25 年 1 月 25 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 11 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1 階		
訪問調査日	平成 25 年 2 月 15 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

1 階・2 階 日常生活において入居者様一人一人の残存機能を生かして取り込める事がないか考え、一緒に調理の下ごしらえ、洗濯物たたみ、季節ごとの壁飾り等を作成し、意欲を引き出せるように努めている。一年間を通して四季折々の行事を考え、お花見、菖蒲見学、干し柿作り、餅つき等を行っている。地域との関わりとして近所の理髪店の同行、買い物での人々との交流で楽しみを持てるようにし、町内会の方を対象にしたホーム主体の介護講習会を開催している。外部からの実習受け入れを積極的に行い、次世代の介護の担い手の一助になればと努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

地域に周知された医療法人によるデイサービスと併設の当該事業所は、各ユニットの管理者及び職員の連携により、今年 3 月に実施予定の介護教室の継続的開催や地域との協力関係の構築に努められている。また、職員の意見・要望にそった研修内容を検討して、2 ヶ月に 1 回開催されている法人内研修「Q 教育委員会」で認知症ケア・接遇等の研修を実施されている。その他、グループホーム連絡協議会主催の職員研修会「各駅停車」への参加により職員相互の交流ができており、昨年の 12 月に開催された県の介護福祉士会訪問事業で勉強会が開催されている。

多数の研修の成果により、利用者は自分らしい生活の継続と24時間365日の医療連携により、健康維持が保たれ家族の安心にも繋がっている。職員は、掲示してある文言「しっかり皆で守りたてて一日一日大切に任務遂行してください」を目視及び意識して、医療への連絡を密に図り、研修での学びを実践すると共に、日々、サービスの向上に向けて研鑽を努められている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体が医療という安心感の下、地域の中で私らしく生きるという理念のもと、利用者が日々安心して暮らせる環境を作るよう努めている。	朝礼の時、理念を唱和して意識を持って関わり、散歩や買い物で地域の方との交流に心掛けられている。職員は自らの目標を掲げて、日々支援に取り組みサービスの向上に努められている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内回覧板の閲覧や地域の清掃活動等に積極的に参加するよう努めている。	今年度3月に実施予定の介護教室を継続的に実行したり、近隣の中学生の職場体験や高校生の福祉科の実習・養護学校の短期実習を受け入れられている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一度町内の婦人会を対象にした介護講習会をホーム主体で行っている。現在も継続して活動中である。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間の行事、活動内容を報告し、改善の検討や地域主催の行事に参加できないか等を話し合っている。	2ヶ月毎に実施される会議は、町内会長・民生委員・市職員が参加され、3箇所のグループホーム合同の敬老会及び会議に家族と利用者も参加され、親睦を深められている。今後も会議の進行の工夫を考慮されている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加、2カ月に一度の介護相談員の来設時に意見交換を行い、また電話でのやりとりをしている。	市職員の会議への参加と介護相談員や傾聴ボランティアの受け入れ等連携を持たれている。また、県からの訪問事業で勉強会が実施されている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間時のみ施錠は行っている。臥床時サイドレールを自立補助として使用。転落の危険がある場合、利用者、ご家族の了解、同意を得て行う。</p>	<p>転倒予防に配慮して、緊急やむを得ない場合は「身体拘束に関する同意書」を家族に説明をして同意をえられている。接遇等の学びを反映して、利用者の意志を大切に言葉掛けを留意されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設外の研修にも参加し、高齢者虐待防止法について学ぶ機会を設ける様になっている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現時点では、きちんとした研修には参加できておらず。これから、学んでいきたいと思う。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者様、ご家族様が疑問に思う事、不安な事がないか尋ね十分な説明が出来るように行っている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族来設時に意見、要望を尋ねるようにしており、運営に反映出来る様努めている。</p>	<p>家族も参加される敬老会では、多彩な催し物を工夫して実施されている。お便りの他、家族の訪問時には、利用者の日頃の状況を口答で報告されている。常に、家族がどのようなケアを望まれているかを留意されている。今年度は時間を考慮して、穏やかな時期に「花祭り」としての変更を立案されている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングを毎月一回行い意見の交換を行って、サービスの向上について話し合っている。</p>	<p>職員は自らの目標を掲げて年度末に反省後、次年度に向けての努力を示されている。業務優先より、職員も心身の状況をテレビ体操等でフレッシュして笑顔で関わられるように心掛けられている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者と管理者とで話し合いの場を設けて、職場環境等について話し合いを行い、職場環境の向上に努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>院内研修を行っており、外部での研修にも参加するように努めている</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市内のグループホームとの各駅停車の出席など、サービスの質を向上させていく取組をしている</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>要望など伺い介護ケアに取り組めるよう努めている</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安・要望などご家族様とお話しが出来るよう関係作りに努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様やご家族様のご要望を伺い施設で出来る事、出来ない事を見極めし施設外のサービスも利用出来る様努める</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>新聞折りや洗濯物たたみ、おぼん拭きなど一緒に行っている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>施設内の行事等参加して頂ける様取り組んでいる</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者様のご希望に応えられるように努めている</p>	<p>馴染みになった理美容院の利用や散歩で、近隣の方に挨拶をして関わりの支援に努められている。家族の訪問時には、居室で寛いで頂ける様に家族との関係継続も支援されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士、季節の絵を描いたり、貼り絵をしたりと関わり合いに努めている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要に応じて関係機関への連絡、相談、支援などに努めている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者様のご希望に応えられるように努めている希望を聞き、意向の把握に努めている</p>	<p>他の利用者への配慮を心掛けて、居室で過されている時間や入浴時の一对一の関わりの時、職員の声かけで思いや意向の把握に努められている。昔の話や日頃関わる職員の話を送り添って聞くように留意されている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴、自宅での暮らし方など把握して自立支援に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人時間の使い方が違うので、利用者様の意向に合わせた支援を行い、残存機能を活かした自立支援を行っている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月1回ミーティングを開き、本人様の状態に介護計画が反映されているか職員間で話し合っている</p>	<p>担当職員が利用者の状況を把握して、職員会議で話し合い介護計画を作成されている。遠方の方は電話で、家族に説明して同意をえられている。また、職員が共有してサービスを実践後、達成状況を評価して次の作成に繋がられている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々模索しながら利用者様への最善の介護ケアが出来るように業務にあたっている。実践・報告・検討をし、介護計画に活かしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>各々のニーズに対応出来る様に努力している</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>協働に関しては現在出来ておらず。今後地域資源がどのようなものがあるのか学んでいき、取り入れていけるようにしたい。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>牧山医院が母体であるので、適切な医療が受けられる様に支援出来ている</p>	<p>かかりつけ医の往診が週1回また、定期的な受診もされている。他にも、訪問歯科のケアや他科受診は家族に連絡後、家族の意向にそって受診の支援に努められている</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の状態観察を通して、変化があれば早急に医院へ連絡し、指示を仰いだり場合によっては受診し素早い医療支援が出来る</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>院長・管理者・ご家族様による話し合いを設けている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者様、ご家族様の意向に沿って支援にあたっている。職員同士、医院との話し合いを密に行い連携して支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りの経緯もあり、理念及び指針にそって利用者の心身の状況の変化を、日頃より家族に報告されている。緊急の場合は、院長が家族に説明の後、院内に転院されている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>院内研修や外部の研修に積極的に参加し実践力を身につけている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を行う事で有事の際でも対応出来る様に努めている。消防団等の参加、協力のもと訓練も行っている</p>	<p>常に、利用者の命の安全と避難誘導の手順を配慮されている。避難場所の確保と夜間想定の手当訓練を実施して、自動通報装置により職員への連絡体制を整っている。備蓄も確保されている。</p>	<p>日頃からの危険予測を想定しての訓練や備蓄リストと自主点検表にて点検の実行に取り組み、更に、地域との協力体制の対策の強化を期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に合わせた言葉かけや対応を行っている 職員同士での意見交換をする	利用者一人ひとりの人格を尊重して、周囲の方への配慮も心掛けられている。方言も交えながらも接遇での学びを実践して、言葉かけは柔らかく対応されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とのコミュニケーションを多く持てる様に努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話をしながら希望を伺い、散歩等に出掛けている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服は選んで頂き、整髪は毎朝整えている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みのメニューの取り入れをしたり、食事後のおぼん拭き、テーブル拭き等される	各ユニットの献立は別々で、写真入りの献立・検食簿を作成して、管理栄養士に塩分摂取等の指示を受けて反映されている。形態食や行事食も工夫して、利用者のペースをやさしく介助されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の状態を把握し、一人一人に合った食事形態を提供している		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声掛けを行い、ご自身で出来ない方には介助にて行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定期的なトイレの声掛けを行いトイレでの排泄を出来る様に支援している</p>	<p>利用者の状況に応じて、夜間はポータブルトイレやリハビリパンツの使用の方もいるが、昼間は布パンツ使用で手引き誘導等、自立に向けた支援を心掛けられている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>牛乳等を取り入れ、運動をして廊下を歩いたりして取り組んでいる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の状況に合わせて、本人の意思に添える様に努めている</p>	<p>利用者の身体状況をチェックした後、希望を伺い無理強いのない楽しみな入浴支援を心掛けて、週2・3回の入浴で清潔保持に努められている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>介助が必要な方は同じ姿勢が長時間続かない様、定期的な臥床の声掛けを行っている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人一人名前を読み手渡しし、服薬が終わるまで支援し飲み忘れがないか確認している</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日常生活能力や利用者様の状況・生活環境等の情報・収集</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>気分転換を図る為、天気の良い日は散歩したり、室内で皆で遊べるゲームなどしている</p>	<p>年間行事での花見見物や外食の他に、昔馴染みの場所へのドライブや天候のよい日には近隣を散策したり、利用者の身体状況に応じて、意志を確認したうえで外出支援をされている。また、家族の協力で一時帰宅もされる。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様に合わせご自身で所持して頂いている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の要求があればご家族様へ連絡しており、上手く伝えきれない利用者様に対しては代弁しスムーズに会話出来る環境作りをしている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様が過ごされる事が多い場所には季節の花を取り入れ飾っている</p>	<p>ソファに寛ぎながらテレビを見たり、戸外の景色を眺めたりできる共用空間は、明るく職員と利用者の作品が掲示され、利用者がゆったりと過ごせる様に配慮されている。キッチンからの見守りもでき、寄り添って言葉掛けをされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食卓では話が弾む利用者様同士を隣にするなど工夫している</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具等必要である場合は自宅で使用していた慣れ親しんだ物での提供	利用者の状況に応じた対応（手引き・車椅子）や災害時の利用者の安全確保と迅速な避難誘導を目視出来る様に明示されている。家族の訪問時、一緒に寛げる様にまた、馴染みの家具や小物の持込で我が家として安心して過ごして頂ける様に配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に名札・利用者様の写真を掲示し、わかりやすく工夫している		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップ に向けて期待 したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念である母体が医療ということに基づき、医院と密に連絡を取り合い、安心感の中での生活をして頂いている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議を設け、毎月の行事内容やホーム内の様子をお伝えしたり、回覧板を行い地域の一員とし、町内清掃の参加し、地域とのつながりを大切にしている</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>年に1回町内婦人会方との認知症について・誤嚥といった介護についての勉強会を開催している</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回会議を開催し、行事内容の報告・意見交換し、その内容を反映したホーム作りに努めている</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>介護相談員の方が定期的に来所され、わからない事やアドバイスも聞き関係を築くようにしている。敬老会や夏祭りにも参加して頂いている</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ミーティングや日々の業務内でも身体拘束にならない様職員間で対策を考え取り組んでいる。サイドレールについては補助具として1本使用している</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>市内グループホームで開催している各駅停車や、外部の勉強会に積極的に参加し、研修内容も報告し、知識の向上に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、設けておらず。今後も機会を設けて学んでいきたい</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書に従い十分に説明し、御利用者様・ご家族様の理解・納得を得、疑問に思う事も尋ねている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事務所前にご意見箱を設置している。利用者様・ご家族様が要望や意見が言える環境作りに努めている</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日々の業務の中やミーティングの際に意見交換しており、よりよいサービスが出来る様に努めている</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に職員との面談・アドバイスをを行い、職場環境の状況報告を行っている</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>院内研修や外部での研修は積極的に受講出来る</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市内グループホームで開催している各駅停車での交流で同業者との情報交換に努めている</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>アセスメントを行い、今までの過ごし方、生活環境を知り、要望をケアに取り組んでいる</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族様が意見を言いやすい環境作りに努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様・ご家族様から情報を習得し利用者様に合ったサービスを行っていく</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日頃より利用者様同士で洗濯物干しや調理の下準備を一緒に行ったりと場を作り、互いの環境作りに努める</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>虹新聞を毎月発行、誕生日会の参加や外泊の協力もあり、利用者様とご家族様が関わり合える環境を支援している</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>個別での外出支援は出来ていなく今後の課題ではある。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーション・創作等を通し関わり合える場の提供に努めている。トラブルにならない様に職員が間に入ったり努めている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用者様・ご家族様との連絡を通じ支援に努める</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者様の意見・要望、食べ物の希望も本人の自己決定を伺っている</p>		

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>御家族様とのコミュニケーションや一人一人と密に接する時間を作ることによってこれまでの過ごし方を聞く</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>居室で過ごす方、リビングで他者と過ごす方とその人に応じた日を送れるようにしている。口腔体操を行い、活力や残存能力の維持に努めている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ミーティングの際介護計画に基づき介護ケアやアイデアを出し合う</p>		
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>連絡ノート・日勤者での朝礼を行い、ケアでの気づきを話し合うようにしている</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>積極的に支援していきたい。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行えておらず。今後は地域に協働できるようにしていきたい</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体の医院より往診、定期健診を受けている。又、歯科については往診にて対応、眼科については受診にて対応している</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週木曜日の往診時や急変、体調の変化がある時には医院への報告をし、必要に応じ受診・往診にて対応している</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>母体の医院との相談や情報交換は密に出来ている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>医師・管理者・ご家族様の話し合いにて今後の治療方針の内容の話し合いが行われている</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>院内研修や外部での研修は積極的に受講し、今後も実践力を身に付け訓練していきたい</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を行い、利用者様の避難誘導、又職員の行動を身につけている</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人、今まで生きてきた中での経験など踏まえ対応している
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の行動を見守り、利用者様の要望を傾聴し、支援している
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や買い物への希望も対応し支援している
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の希望の洋服を一緒に選ぶ
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員含め調理の下準備を利用者同士で行っている
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食検食簿の記入をし偏りがないように努めている。給食委員会により栄養士からの指導をして頂いている

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声掛けを行い、残存能力を活かした口腔ケアを行っている。又、誤嚥予防にて口腔ガーゼも用いてのケアを行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>声掛けを定期的に行い、なるべくトイレに座って頂き、排泄の支援を行っている</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食欲が出る様な彩りを大切にした食事作りや便通に良い食材を使用する様心がけている。天気の良い日は散歩への声掛けをしている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の体調や意向に合わせて、入浴の提供をしている</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安眠に繋がるよう職員とのホットミルクの提供や安心出来る声掛けに努めている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>日頃より医療との連携を図り、細かな変化にも対応していく態勢をとっている。又、誤薬防止の為、2人での確認を行っている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>プランター作り、調理の下準備、洗濯物たたみ等利用者様同士で行われている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物への要望へは職員同行し対応しているご家族様と外出の機会も行っている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御家族様と残金を確認。買い物時は利用者は支払う支援を行っている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話希望時、対応している。年賀状を毎年書いていただいている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入り口やトイレなどには表札を掲げている。毎月、季節感を取り入れた制作活動をし、リビングに飾っている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにて利用者様同士楽しく会話されている</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	賞状・写真や制作活動での作品を居室内に飾られている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止の為、居室や洗面所の入り口の段差を無くしている		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない